令和５年度　高松市病院事業会計決算見込みの概要

病院局

高松市立みんなの病院
Takamatsu Municipal Hospital

１．令和５年度決算の概要

（１）前年度比較

決　算	令和 5 年度　A	令和 4 年度　B	前年度比較　A - B	
			増　減	増減比率
決　算　規　模（税込）	116.0 億円	112.5 億円	3.5 億円	3.1 %
みんなの病院	109.2 億円	106.0 億円	3.2 億円	3.0 %
塩江分院	6.8 億円	6.5 億円	0.3 億円	4.7 %
経　常　収　支（税抜）	▲ 0.4 億円	5.7 億円	▲ 6.1億円	▲ 106.6%
みんなの病院	0.1 億円	5.9 億円	▲ 5.8億円	▲ 98.6%
塩江分院	▲ 0.5 億円	▲ 0.2 億円	▲ 0.2億円	▲ 112.4%

※以下、四捨五入の関係上、各表間の計数、増減率等が一致しない場合がある。

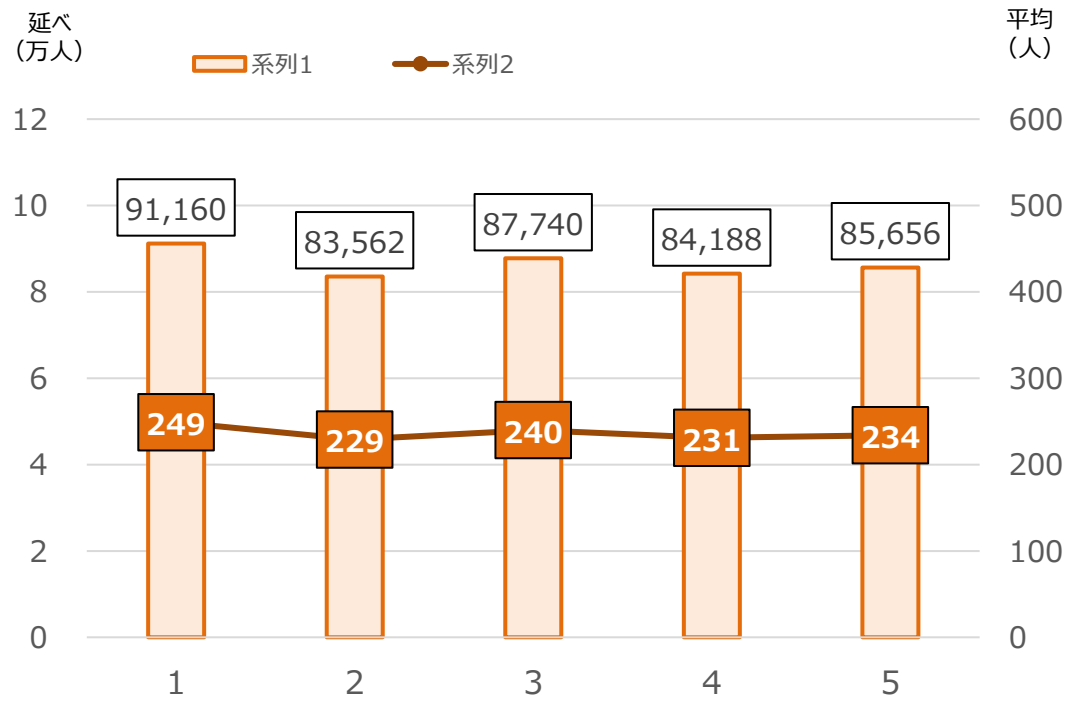
（２）決算のポイント

- **決算規模**（収益的支出及び資本的支出の合計）は、物価高騰などに伴う材料費の増加や企業債償還金の増加などから、**３．５億円**の**増**
- みんなの病院の**経常収支**は、コロナウイルス感染症に係る交付金が減少したことから、４年度に比べ**５．８億円減少**したものの、入院収益・外来収益の増加などにより、**０．１億円**の**黒字**
- みんなの病院の**入院・外来収益**は、外来患者数は減少した一方、入院患者数は増加し、入院・外来とも診療単価が上昇したことから、**１．７億円増**の**７０．５億円**（＋２．４％）
- **一般会計繰入金２２．９億円**（＋１０．２％）は、建設改良に要する経費の増などに伴い**２．１億円**の**増加**
- **現金残高**は、４年度比**０．１億円増**の**４１．９億円**

２．業務の状況①（患者数）

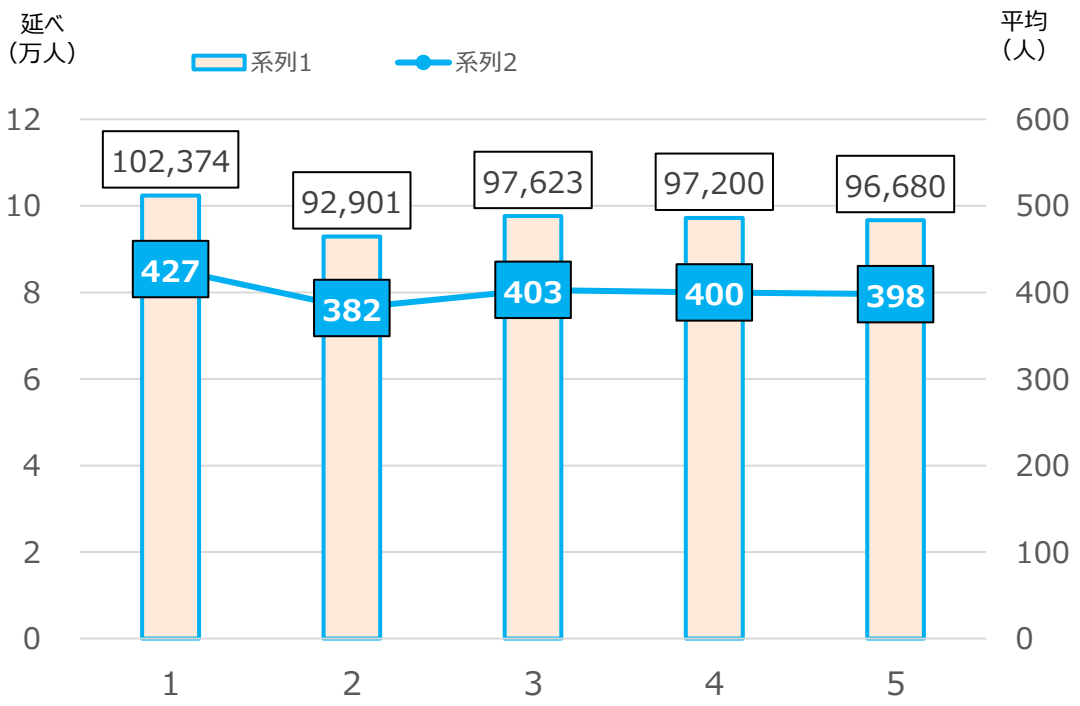
（１）みんなの病院

入　院



救急患者を多く受け入れたことや、紹介患者が増加したことから、新規入院患者が増加するなど、入院患者数は、１．７％増加した。
（対Ｒ１比：▲６．０％）

外　来

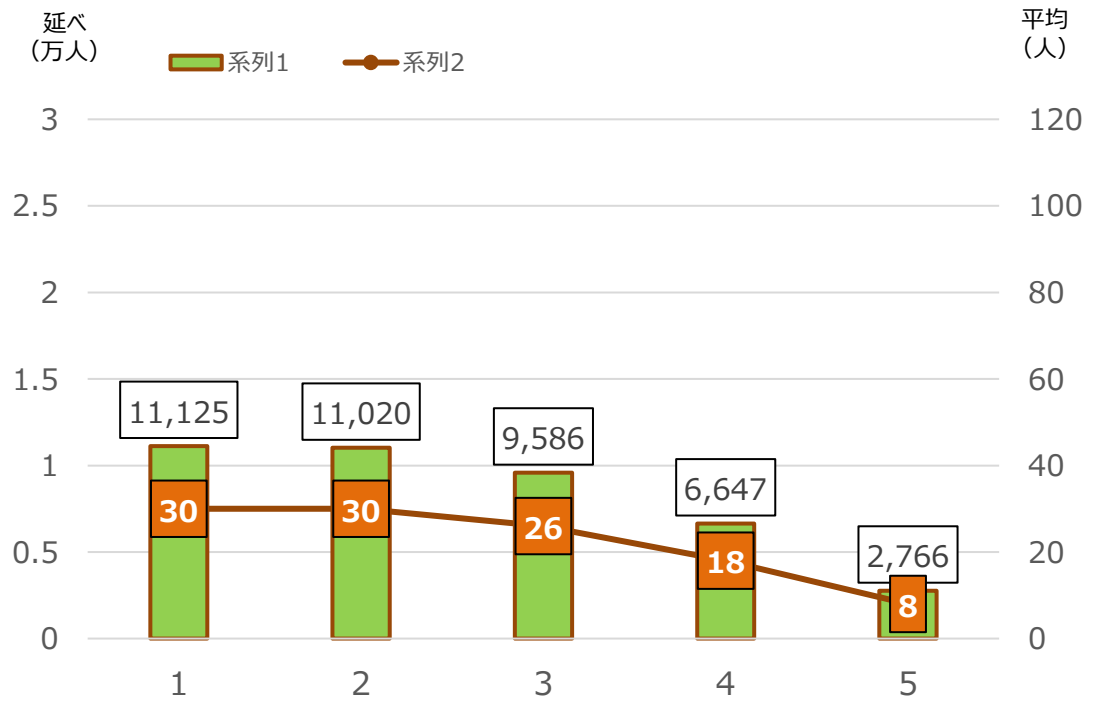
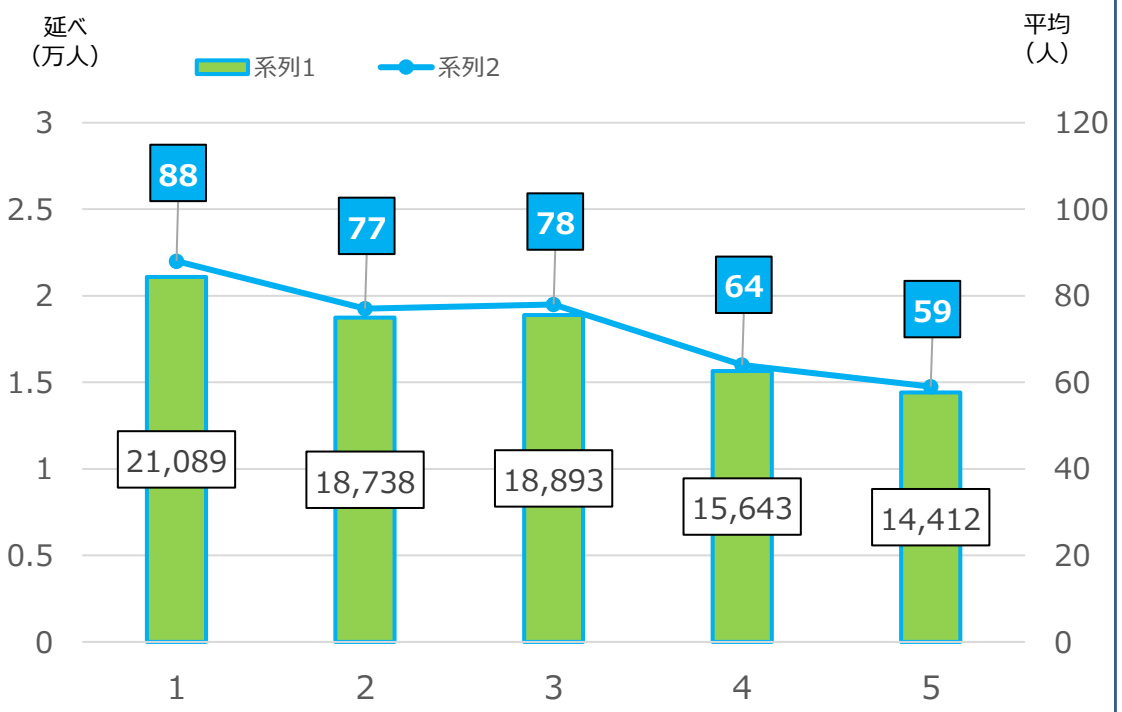


紹介患者数が増加した一方で、新型コロナウイルス感染症が５類に移行されるなど、コロナに関連する患者が減少したことから、４年度に比べ０．５％減少となった。
（対Ｒ１比：▲５．６％）

みんなの病院

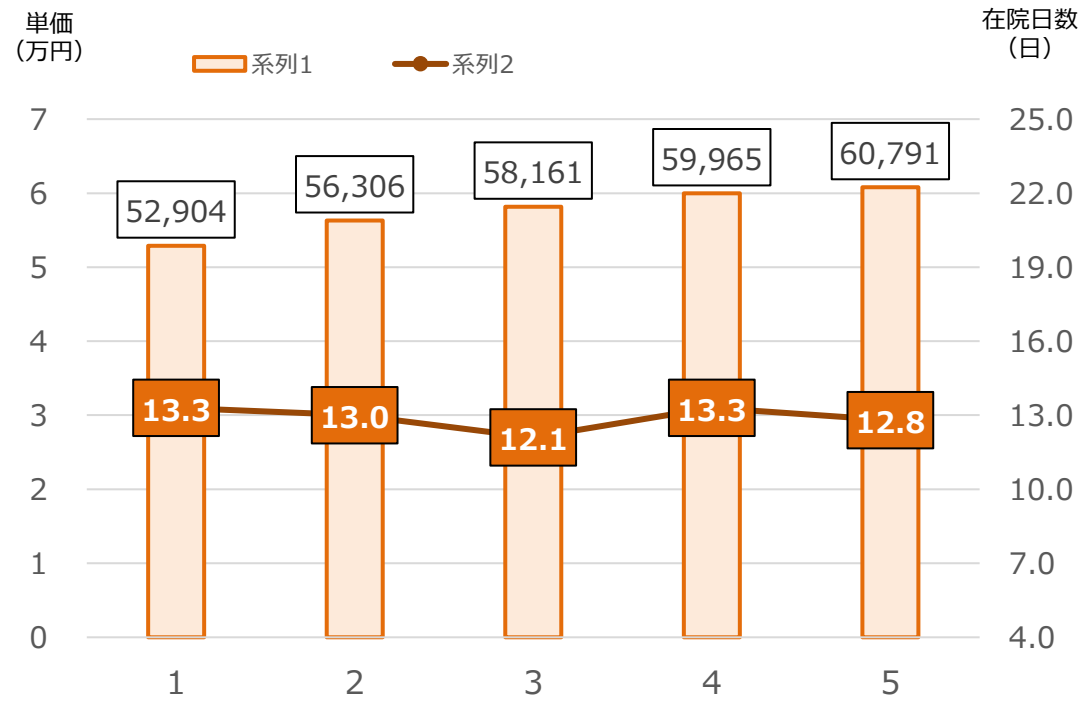
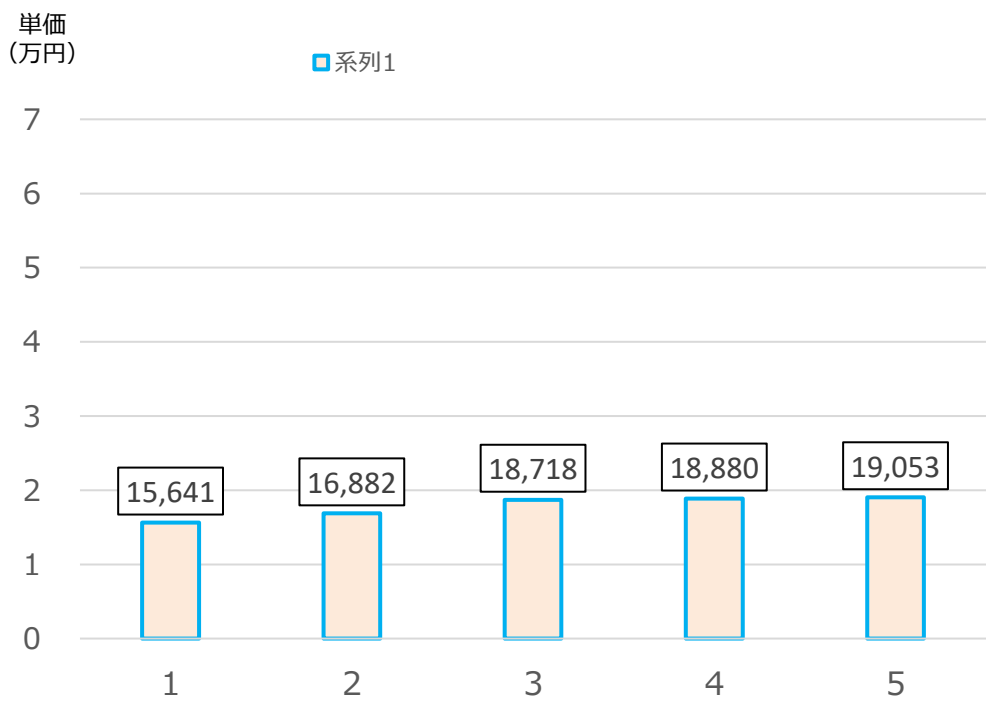
２．業務の状況①（患者数）

（２）塩江分院

	入　院	外　来
塩江分院		
	国の医療制度改革により、介護療養病床が廃止されることに併せ、分院の老朽化に伴い、６年度から医療療養病床も休止するため、入院調整を行ったことから、４年度に比べ５８．３％の減少となった。	医科の外来患者数は、４年度から０．２％の減少であったが、入院患者の減少に伴い、歯科の摂食機能療法の患者が減少したことから、４年度に比べ７．９％の減少となった。

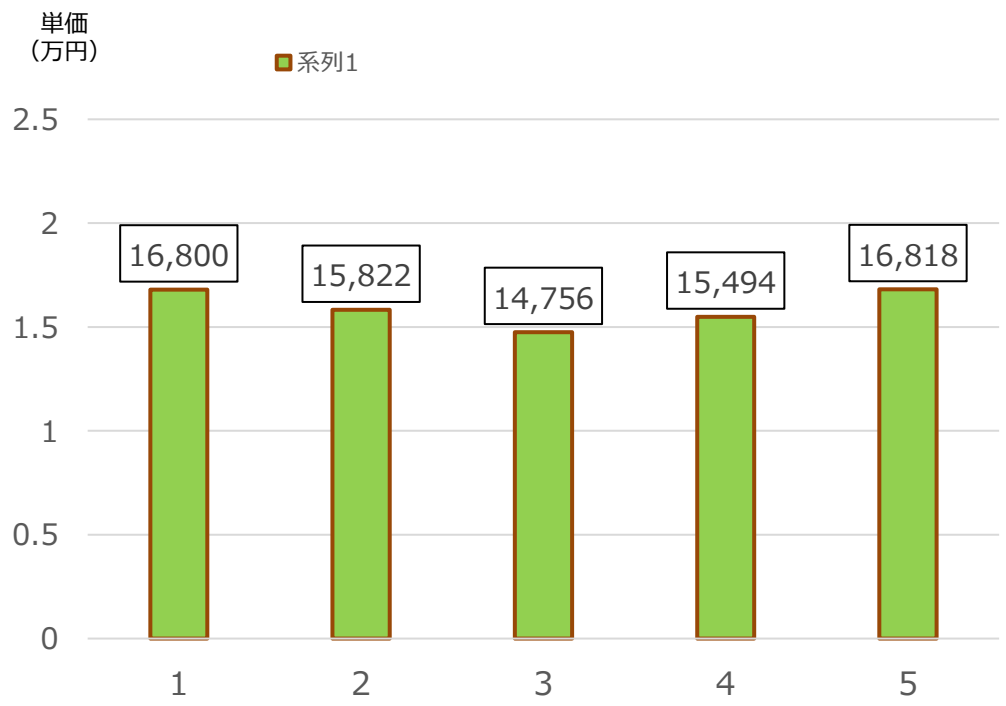
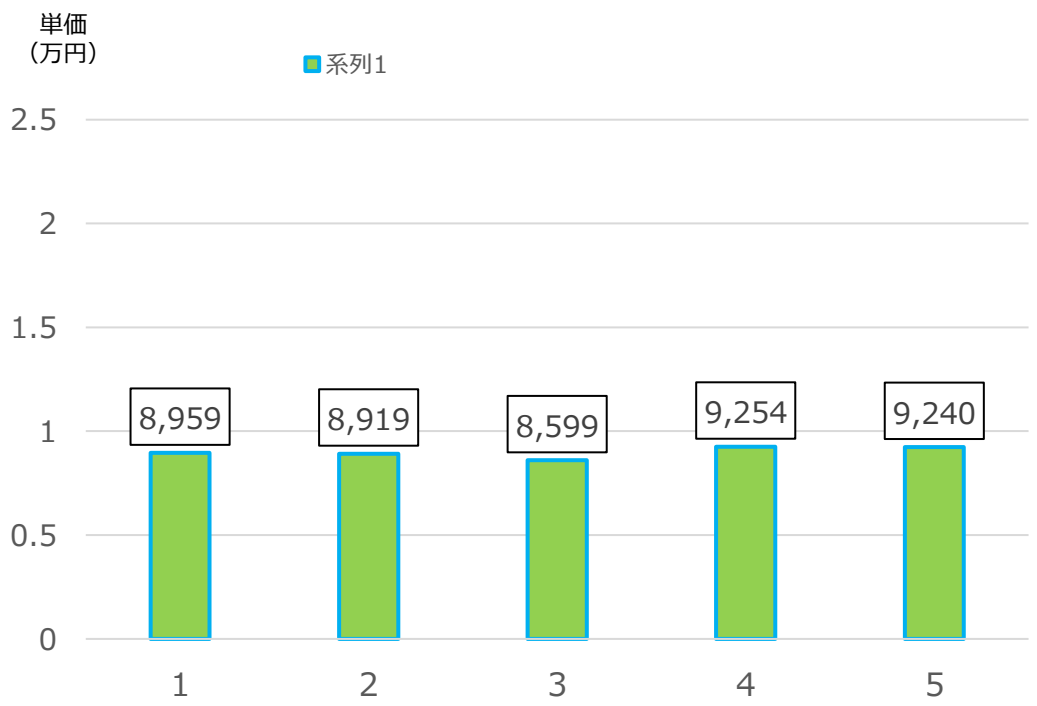
２．業務の状況②（診療単価）

（１）みんなの病院

	入　院	外　来
みんなの病院		
	脳神経外科などにおいて、高額な治療を行ったことや、効率的な病床管理を行ったことなどから、入院単価が１．４％上昇した。	４年度と同様にがん治療などの高額薬品を使用する患者が多かったことから、外来単価が０．９％上昇した

２．業務の状況②（診療単価）

（２）塩江分院

	入　院	外　来
塩江分院		
	４年度と同様に介護療養病床の廃止を見据えた入院調整を行っていたが、５年度は最終的に、相対的に単価の高い医療療養病床の入院患者のみとなったことから、４年度より８．５％上昇した。	感染症の拡大を防止する目的で、４年度と同様に定期受診の回数を減らし、一回に処方する薬剤の量が多くしていることから、０．２％減少したものの、例年より単価が高くなっている。

３．収益的収入及び支出（税抜き）

（１）みんなの病院

単位：百万円

区　分	R５	R４	前年度増減比較		主な増減理由
			金額	率（%）	
収益（みんなの病院）	9,445	9,862	▲ 418	▲ 4.2%	
医業収益	7,989	7,796	194	2.5%	
うち入院収益	5,207	5,048	159	3.1%	患者数 84,188人 → 85,656人　診療単価 59,965円 → 60,791円
うち外来収益	1,842	1,835	7	0.4%	患者数 97,200人 → 96,680人　診療単価 18,880円 → 19,053円
うち一般会計繰入金	621	586	35	6.0%	救急医療の確保に要する経費 ＋ 35,344千円
医業外収益	1,431	2,037	▲ 606	▲ 29.7%	新型コロナ感染症緊急包括支援交付金（病床確保料） ▲ 729,449千円
うち一般会計繰入金	692	756	▲ 64	▲ 8.5%	退職給与の負担に要する経費 ▲ 41,571千円、新型コロナ臨交金 ▲ 56,156千円、医師の派遣等に要する経費 ＋ 38,349千円
特別利益	24	30	▲ 5	▲ 18.2%	長期前受金戻入（過年度分） ▲ 2,737千円
費用（みんなの病院）	9,532	9,307	225	2.4%	
医業費用	9,041	8,882	159	1.8%	
うち給与費	4,561	4,663	▲ 102	▲ 2.2%	退職給付費 ▲158,097千円、賞与引当金繰入額 ＋ 24,304千円
うち材料費	1,789	1,659	131	7.9%	薬品費 ＋ 72,686千円、診療材料費 ＋ 57,378千円
うち経費	1,414	1,358	55	4.1%	報償費 ＋ 40,894千円、委託料 ＋ 42,691千円、光熱費 ▲ 27,411千円
医業外費用	371	360	11	3.1%	雑損失 ＋ 11,049千円
特別損失	120	65	55	83.7%	退職金引当金繰入額 ＋ 64,999千円
当年度純損益	▲ 87	555	▲ 643	▲ 115.7%	
経常損益（特利･特損を除く）	**8**	**591**	**▲ 583**	**▲ 98.6%**	

※令和5年度から、長期前払消費税償却は医業費用に含む。なお、4年度についても比較のため同様に医業費用に含む。

３．収益的収入及び支出（税抜き）

（２）塩江分院

単位：百万円

区　分	R５	R４	前年度増減比較		主な増減理由
			金額	率（%）	
収益（塩江分院）	613	594	19	3.2%	
医業収益	186	256	▲ 70	▲ 27.4%	
うち入院収益	47	103	▲ 56	▲ 54.8%	患者数　6,647人 → 2,766人　　診療単価 15,494円 → 16,818円
うち外来収益	133	145	▲ 12	▲ 8.0%	患者数 15,643人 → 14,412人　　診療単価　9,254円 →　9,240円
医業外収益	345	319	27	8.3%	
うち一般会計繰入金	338	312	27	8.5%	退職給与の負担に要する経費　＋　37,924千円 医師の派遣等に要する費用　　▲　17,000千円
附帯事業収益	16	17	▲ 1	▲ 7.2%	訪問看護利用者の減 1,935人 → 1,800人（▲ 135人）
特別利益	65	2	64	3992.0%	退職金引当金戻入益 + 64,999千円
費用（塩江分院）	594	614	▲ 20	▲ 3.3%	
医業費用	559	578	▲ 19	▲ 3.3%	
うち給与費	401	397	4	1.1%	退職給付費 + 25,233千円、給料 ▲ 3,491千円、手当等 ▲ 17,330千円、
うち材料費	53	72	▲ 19	▲ 25.9%	薬品費 ▲ 14,262千円、給食材料費 ▲ 2,522千円
うち経費	90	96	▲ 6	▲ 6.3%	報償費 ▲ 2,611千円、修繕費 ▲ 1,284千円、燃料費 ▲ 1,123千円
医業外費用	13	15	▲ 1	▲ 8.6%	雑損失 ▲ 1,217千円
附帯事業費用	21	21	▲ 1	▲ 3.0%	
特別損失	1	1	1	190.3%	過年度損失修正損 + 922千円
当年度純損益	18	▲ 20	39	190.7%	
経常損益（特利･特損を除く）	**▲ 45**	**▲ 21**	**▲ 24**	**▲ 112.4%**	

※令和5年度から、長期前払消費税償却は医業費用に含む。なお、4年度についても比較のため同様に医業費用に含む。

４．資本的収入及び支出（税込み）

（１）みんなの病院

単位：百万円

区　分	R５	R４	前年度増減比較		主な増減理由
			金額	率（%）	
収入（みんなの病院）	896	941	▲ 45	▲ 4.8%	
企業債	273	533	▲ 261	▲ 48.8%	医療備品購入費の減少（手術用顕微鏡及びナビゲーションシステム、生体情報モニタなど）
負担金交付金	618	405	213	52.8%	企業債償還に対する一般会計負担金の増加 ＋ 213,456千円
補助金	5	4	2	45.7%	県補助金の増加 ＋ 1,622千円
支出（みんなの病院）	1,364	1,269	96	7.6%	
建設改良費	280	540	▲ 260	▲ 48.1%	
資産購入費	280	530	▲ 250	▲ 47.1%	医療備品購入費の減少 ▲ 249,757千円（手術用顕微鏡及びナビゲーションシステム 94,600千円、生体情報モニタ36,520千円など）
病院施設費	0	10	▲ 10	皆減	
企業債償還金	946	631	315	49.9%	H29年度借入分（みんなの病院整備）の償還開始に伴う増 ＋ 300,376千円 R3年度借入分（生化学・免疫連結型自動分析装置など）の償還開始に伴う増 ＋ 26,963千円
他会計借入金償還金	138	98	41	41.8%	H30年度借入分の償還開始に伴う増 ＋ 40,750千円
その他	0	0	0	-	
収支差引（補塡額）	▲ 468	▲ 327	▲ 141	▲ 43.2%	

４．資本的収入及び支出（税込み）

（２）塩江分院

単位：百万円

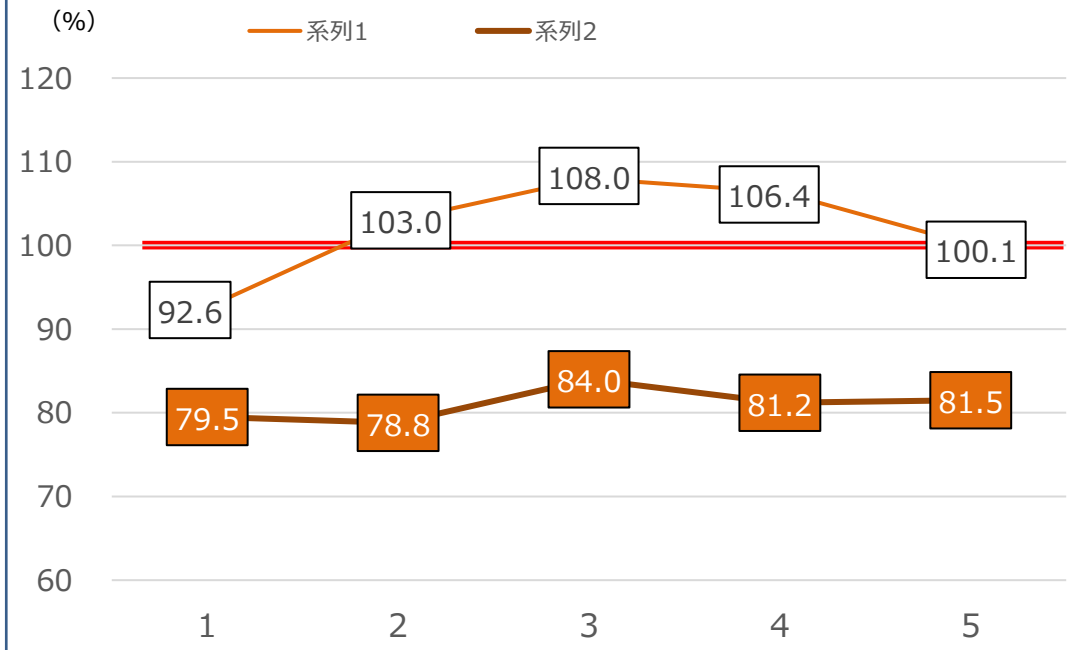
区　分	R５	R４	前年度増減比較		主な増減理由
			金額	率（%）	
収入（塩江分院）	82	30	53	117.8%	
企業債	64	15	49	331.5%	
うち附属医療施設分	63	11	52	460.7%	附属医療施設整備費の増加に伴う増　＋ 51,600千円
出資金	13	12	1	6.7%	
うち附属医療施設分	13	12	1	6.7%	附属医療施設整備の実施設計等に伴う増　＋ 798千円
負担金交付金	3	3	0	8.3%	
補助金	2	0	2	皆増	県補助金の増（患者輸送用車）　＋ 2,306千円
支出（塩江分院）	84	33	51	152.8%	
建設改良費	79	27	53	194.6%	
資産購入費	4	4	0	2.9%	患者輸送用車 3,850千円
附属医療施設	52	23	29	122.6%	道の駅エリア法面対策工事等負担金 51,739千円
繰越附属医療施設	24	0	24	皆増	道の駅エリア建築実施設計負担金　23,900千円
企業債償還金	5	6	▲ 2	▲ 25.9%	
収支差引（補塡額）	▲ 2	▲ 4	2	51.3%	

５．経営指標の推移

（１）みんなの病院

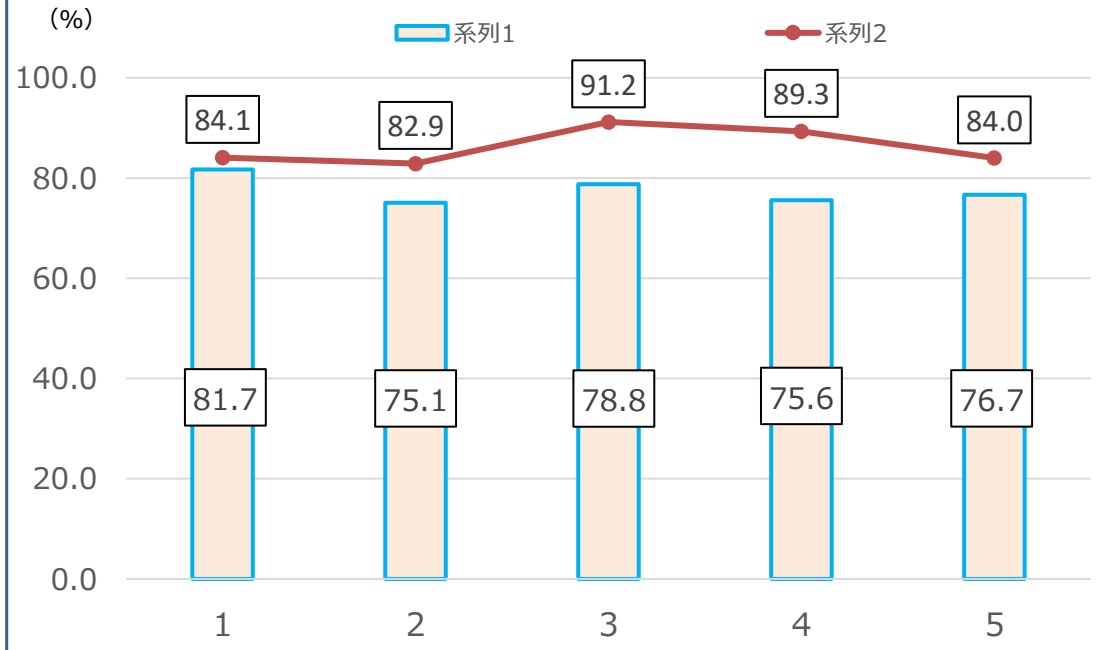
みんなの病院

経常収支比率　**修正医業収支比率**



経常収支比率は、コロナ感染症に係る交付金が減少したことから、４年度に比べ医業外収益は減少したものの、入院・外来収益の増加などにより１００%を上回った。修正医業収支比率（※）は前年度を０.３ポイント上回った。

病床利用率



コロナ感染症の５類感染症移行に伴い、コロナ専用病床を一般病床とし患者を受け入れるようになったことや、効率的な病床管理を行ったことなどから、４年度に比べ、１.１ポイント上昇した。

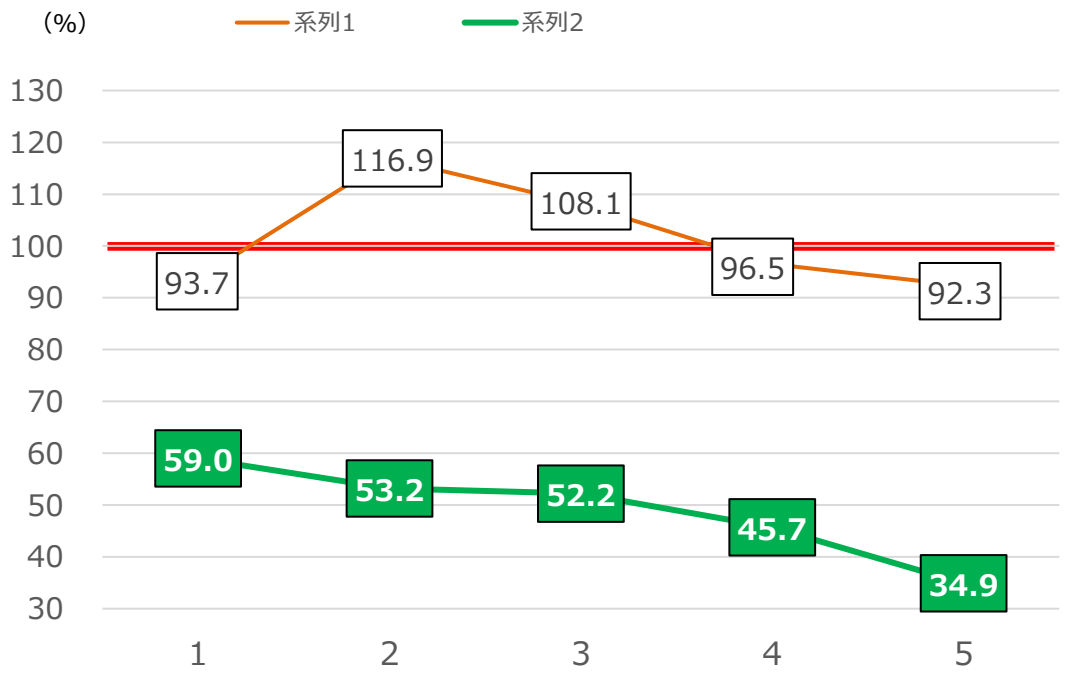
※令和5年度から、長期前払消費税償却は医業費用に含む。なお、4年度についても比較のため同様に医業費用に含む。

■経常収支比率とは　経営の健全性を示す指標。比率が高いほど健全であり、100%を超えると健全経営であることを意味します。
■修正医業収支比率とは　経営の収益性を示す指標。他会計繰入金などを除いて算定しており、比率が高いほど収益性が高く、100%を超えると独立採算であることを意味します。

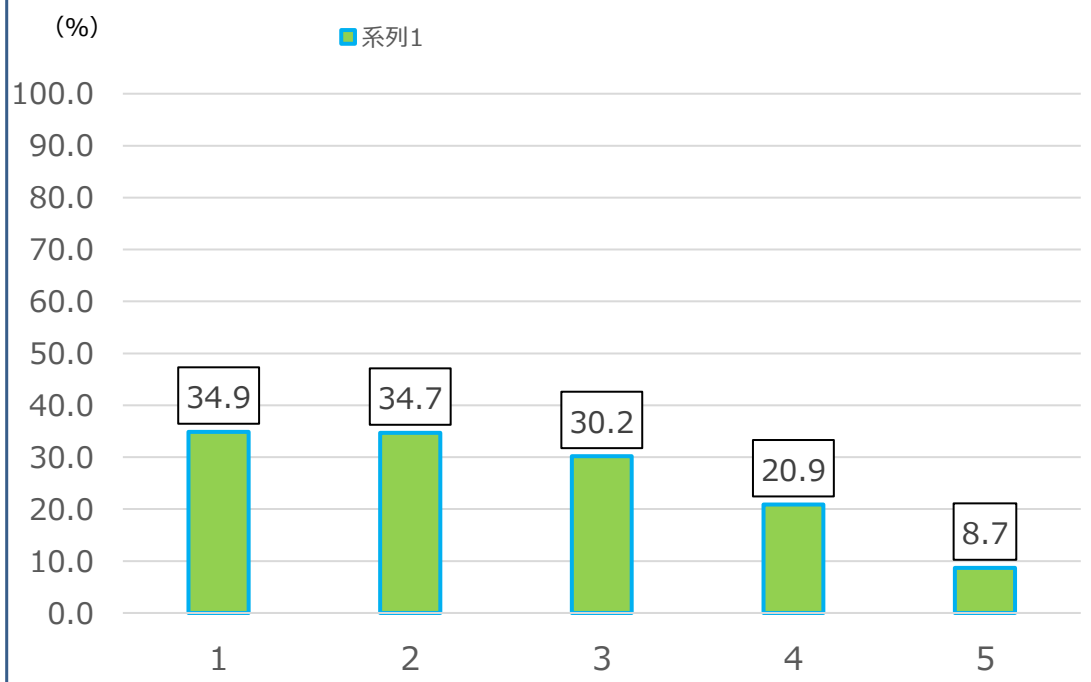
５．経営指標の推移

（２）塩江分院

経常収支比率　　修正医業収支比率



病床利用率



塩江分院

国の医療制度改革により、介護療養病床が廃止されることに併せ、分院の老朽化に伴い、６年度から医療療養病床も休止するため、入院の調整を行ったことから入院収益が減少し、経常収支比率・修正医業収支比率（※）が共に低下した。

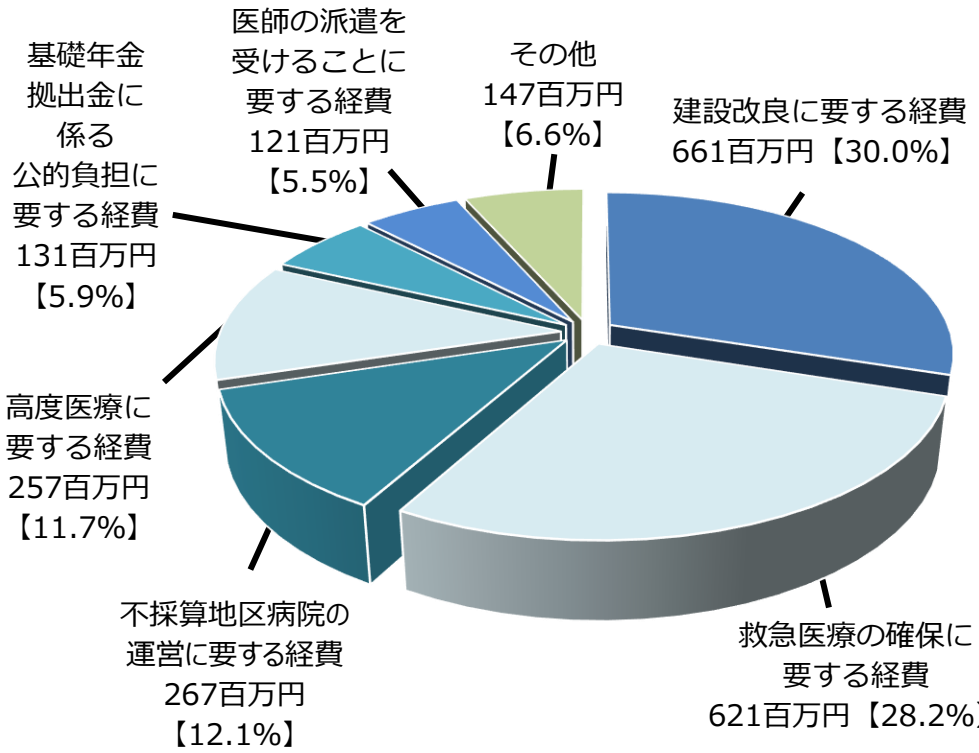
国の医療制度改革により、介護療養病床が廃止されること併せ、分院の老朽化に伴い、６年度から医療療養病床も休止するため、入院の調整を行ったことから、１２．２ポイント低下した。

※令和5年度から、長期前払消費税償却は医業費用に含む。なお、4年度についても比較のため同様に医業費用に含む。

６．一般会計から病院事業会計への繰入金

単位:百万円

決算	Ｒ５年度	Ｒ４年度	増減	Ｒ６予算	備　　考
負担金	2,273	2,061	212	1,943	建設改良、退職給与などに要する経費
出資金	13	12	1	0	附属医療施設整備事業などに要する経費
合　　計	**2,286**	**2,073**	**212**	**1,943**	
繰出基準内	2,205	1,932	272	1,875	総務省通知
繰出基準外	81	141	▲ 60	67	地方交付税等措置対象外



基準内 繰入の内訳

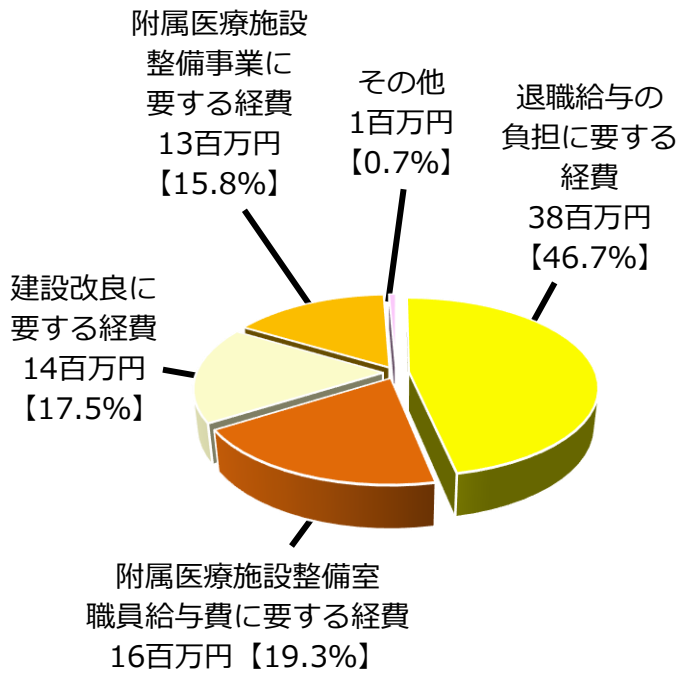
2,205百万円【96.5%】

（R4【93.2%】）

基準外 繰入の内訳

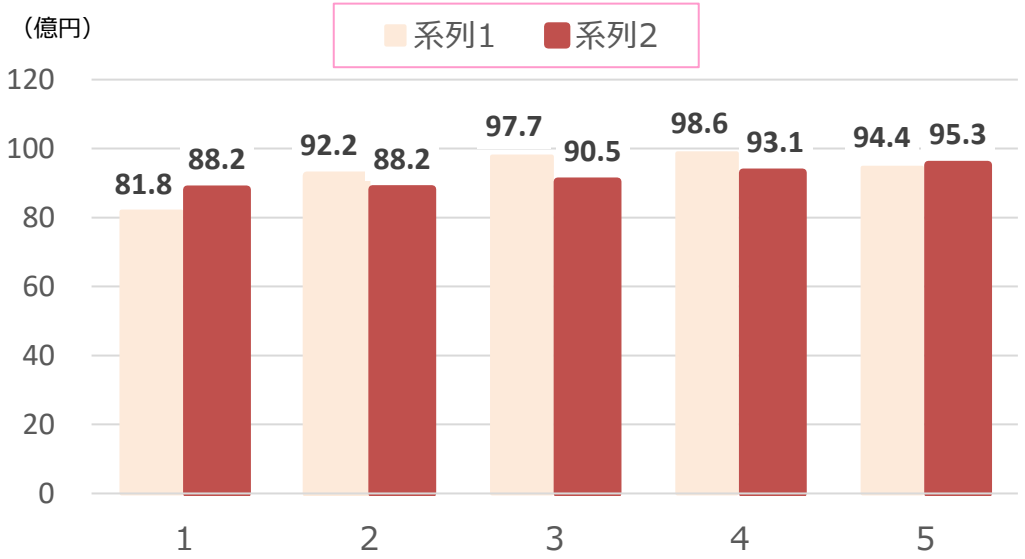
81百万円【3.5%】

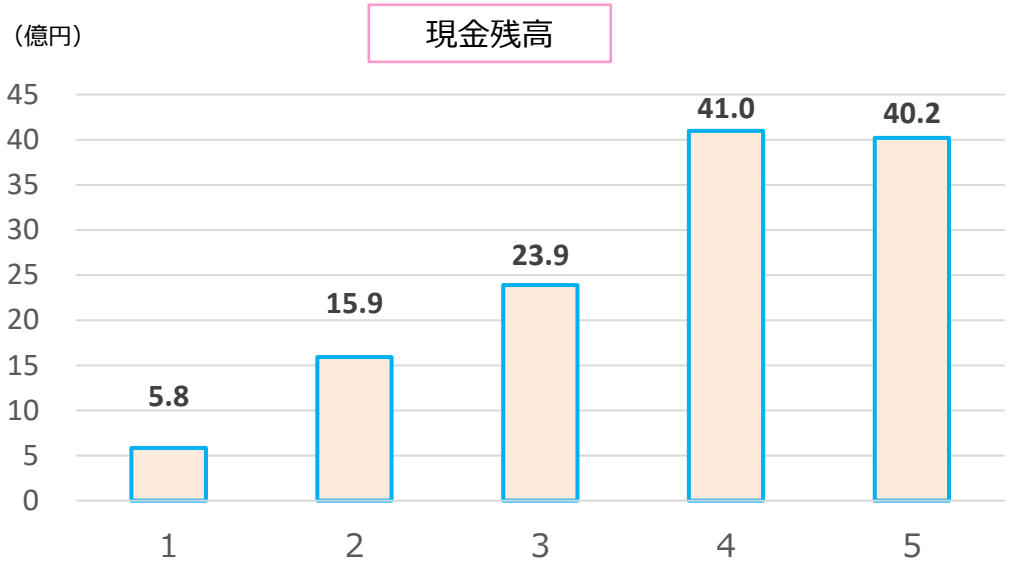
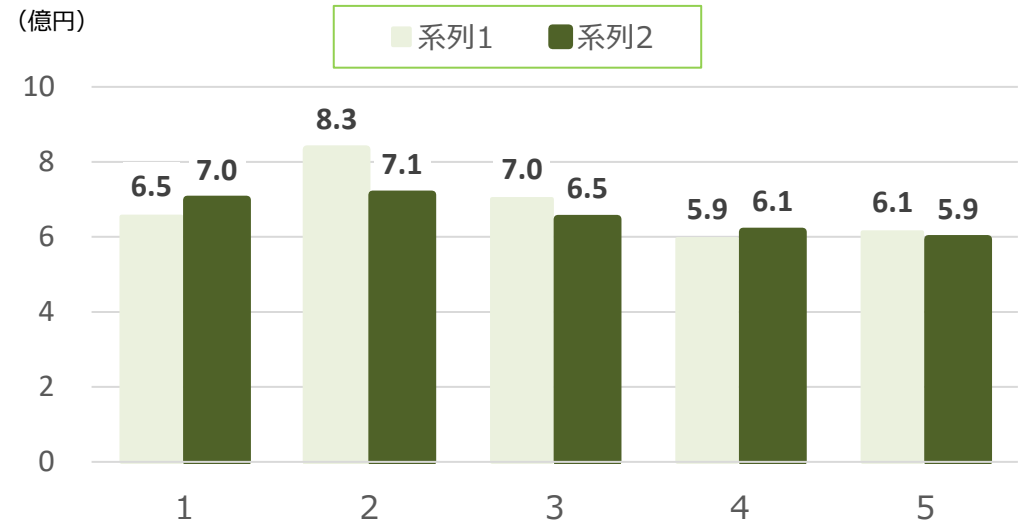
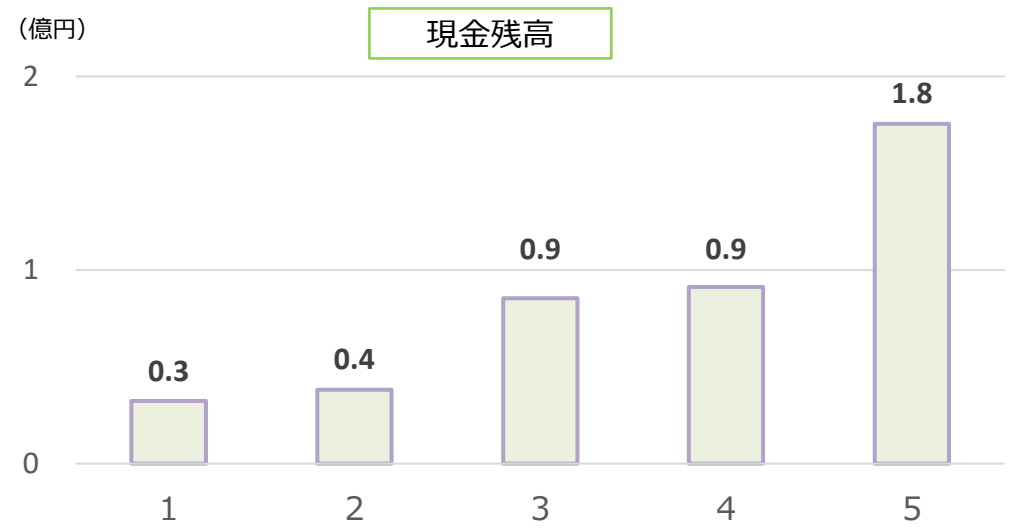
（R4【6.8%】）



7．病院事業収益・費用及び現金残高の推移

みんなの病院





塩江分院